

◆2016年9月21日付け健康産業新聞FAX速報に掲載されました。
 ~リグナンリッチ黒胡麻で栽培された「胡麻若葉」を「リグ菜」で商標登録出願しました~

クリスチャン・ハンセン、乳酸菌「LGG」を買収

乳酸菌「BB12」で知られるクリスチャン・ハンセンは、乳酸菌「LGG」を、ヴァリオ（フィンランド）から買収することを明らかにした。

買収価格は7300万ユーロ（約83億円）で、「LGG」の菌株とその商標が含まれるほか、現在「LGG」を生産している施設などが含まれる。今回の買収では、「LGG」のほか、約3200の菌株を入手することになる。

わだまん、胡麻若葉原料を「リグ菜」で商標登録へ

わだまんサイエンス（075・222・7318）は、オリジナル青汁原料として提案する「国産胡麻若葉」について、「リグ菜」で商標登録を出願した。新ブランドで訴求力を強め、原料・OEM供給を一層強化していく。

また、さらなる安定供給体制の構築を推進。無農薬・無化学肥料栽培の鹿児島産、有機JAS認定の島根県産に加え、新たに提携会社の日本幸加齢フォーラムが進めている宮崎県（2農場）でのテスト栽培も順調に進んでいるという。

胡麻若葉「リグ菜」は、リグナンを高含有するミャンマー産「リグナンリッチ黒ごま種子」で栽培したもの。商標出願に先駆けて、すでに特許査定（アクテオシド含量の高い胡麻若葉乾燥末およびそれより得られるエキス粉末）を受けている。

露地栽培の人参が栄養機能食品に NKアグリ

NKアグリは11月から、IoT（モノのインターネット）を活用し、露地栽培の人参を栄養機能食品として展開を始める。全国7道県（北海道、青森、茨城、千葉、熊本、宮崎、鹿児島）50人の農家と連携し、通常の人参には含まれないリコピンを含有する人参「こいくれない」を生産。全国の量販店、生協で販売する。

同社では、サイボウズ社のクラウドシステム「Kintone」を活用し、気象データなどIoTセンサーのデータを提携農家と共有することで、全国における「こいくれない」の最適な収穫時期を予測。全国規模の流通体制を構築したことで、旬の収穫時期が1ヵ月と短い同品種の安定生産・流通が可能になった。IoTシステムによってプロビタミンA量を把握し、露地野菜では珍しい栄養機能食品として販売する予定だ。流通は11月から始まる予定で、販売目標は90万袋。

イベント

▼9/27（火）「機能性表示食品、全員集合祭！」（主催・日本通信販売協会、日本健康・栄養食品協会）「機能性表示食品制度、届出実務におけるポイント」など。会場／三井住友銀行東館ライジング・スクエアSMBBCホール（東京都千代田区）。時間／9時30分～17時30分。参加費／会員1万円、一般2万円（懇親会は別途1万円）。問い合わせ先／03・5651・1155

【お知らせ】次回配信は9月27日（火）です。

「健康産業速報」の記事を発行元の了承なく転送・転載することは、著作権法に抵触いたします。